

学校法人天理大学 財務の概要

(1) 平成 26 年度決算の概要

平成 26 年度決算について、予算と対比してその概要を報告します。

◆ 資金収支計算

資金収支計算書は、当該年度における教育・研究その他の活動に対応するすべての収支内容、並びに支払資金の収支のてん末を明らかにしたものです。すべての収支内容を明らかにするとは、実際の収入・支出に限らずその会計期間に入金又は出金すべき額、すなわち未収入金や未払金も収入・支出に含め、授業料免除等のお金の動きが実際にはない活動も含めることとなります。また、支払資金のてん末とは、支払資金の前年度末残高、入金、出金及び年度末残高を明らかにすることです。従って収入には前年度繰越支払資金を含めて計算し、支出には次年度繰越支払資金を含めて計算することになり、収入の部合計と支出の部合計は一致します。

資金収支計算書は企業会計におけるキャッシュ・フロー計算書に近いものですが、個々の収入金額、支出金額は前受金、未収入金、未払金、前払金等で処理した費用も含まれていますので、必ずしもキャッシュ・フローとはなっておりません。しかし、それら前受金等を調整する「調整勘定」を設けることにより、総額としてはキャッシュ・フローを示しています。

(単位：千円)

●収入の部			
科 目	予 算 額	決 算	差 異
学生生徒等納付金収入	3,745,644	3,761,592	△ 15,948
手数料収入	69,675	69,806	△ 131
寄付金収入	2,744,400	2,749,941	△ 5,541
補助金収入	1,193,846	1,226,230	△ 32,384
資産運用収入	45,683	54,093	△ 8,410
資産売却収入	0	185	△ 185
雑収入	399,952	401,512	△ 1,560
前受金収入	480,150	457,796	22,354
その他の収入	322,100	396,543	△ 74,443
資金収入調整勘定	△ 823,550	△ 1,003,160	179,610
前年度繰越支払資金	4,774,108	4,774,108	
収入の部合計	12,952,008	12,888,646	63,362

●支出の部			
科 目	予 算 額	決 算	差 異
人件費支出	6,098,269	6,095,073	3,196
教育研究経費支出	1,406,316	1,356,565	49,751
管理経費支出	357,935	337,600	△ 9,665
施設関係支出	27,900	23,737	4,163
設備関係支出	200,880	200,706	174
資産運用支出	710	1,028	△ 318
その他の支出	951,360	957,790	△ 6,430
資金支出調整勘定	△ 1,223,000	△ 1,234,118	11,118
次年度繰越支払資金	5,131,638	5,120,265	11,373
支出の部合計	12,952,008	12,888,646	63,362

収入の部では、学生生徒等納付金収入は約 1600 万円の収入超過の 37 億 6159 万円となりました。手数料収入は予算に対して 13 万円増額となっています。寄付金収入は宗教法人天理教より 27 億円、その他の寄付金は 100%出資の事業会社「キャンパスサポート天理」の受配者指定寄付金、用途指定寄付金及び一般寄付金を合わせて 4994 万円ありました。補助金収入は国庫補助金収入が耐震対策緊急促進事業費補助金の増額により見込みを上回り 6 億 1698 万円となりました。地方公共団体補助金収入も見込みを上回り、1988 万円予算額より増額の 6 億 785 万円となり、補助金合計は 12 億 2623 万円となりました。資産運用収入は受取利息・配当金収入、施設設備利用料収入とも見込みを上回り 841 万円の収入超過となっています。雑収入は私立大学退職金財団等交付金収入が予算どおり、また、その他の雑収入では文部科学省科学研究費補助金間接経費等が増えたため収入超過となりました。当年度収入合計は前年度の 82 億 4384 万円より 1952 万円増加して 82 億 6336 万円となり、前年度繰越支払資金等を加えた収入の部合計では 128 億 8865 万円となりました。

支出の部では、人件費支出がほぼ予算額通りの 60 億 9507 万円となりましたが、退職金が増額したので、前年度より 2 億 3482 万円増額しています。教育研究経費支出、管理経費支出、施設関係支出、設備関係支出に計上された主な工事、備品等の整備は以下のとおりです。

施 設	内 容
大 学	◇白川ラグビー場シャワー棟新築工事 ◇認証サーバーリプレイス ◇情報ライブラリー図書情報システム入替 ◇体育学部柔道場窓枠改修工事 ◇ロシア女性誌コレクション(マイクロフィッシュ)購入 ◇研究棟非常用蓄電池設備更新工事 ◇柚之内・体育学部キャンパスPC教室等情報機器設備入替 ◇情報ライブラリー分室改修工事 ◇大学院体育学研究科共同研究室改修工事 ◇インターナショナル・カフェ設置に伴う什器及び備品購入

施設	内 容
図書館	◇電話交換システム機器取替 ◇2階展示室床置エアコン取替 ◇特別図書「剪燈餘話」「森鷗外書簡 正宗敦夫宛」「レメリン 小宇宙鑑」「森鷗外書簡 渋江終吉宛」「花の露 秋・冬」「天正使節記」他購入 ◇国宝「類聚名義抄」保存修理
高等学校	◇本館1階女子トイレ改修工事 ◇別館棟系統ガスヒートポンプエアコン修理 ◇北池グラウンド防球ネット嵩上げ設置工事 ◇北寮・陽心寮、屋内消火栓管及び連結送水管改修工事 ◇北寮4階生徒室・幹事室・講堂スチール窓改修工事 ◇北寮厨房サッシ改修工事 ◇陽心寮5階、6階小便器取替工事
中学校	◇PC教室更新工事 ◇校舎等耐震診断手数料 ◇西トイレ改修工事 ◇ティンパニー購入 ◇電子黒板購入 ◇南側フェンス改修工事
小学校	◇東トイレ改修工事 ◇校舎等耐震診断手数料 ◇北庭樹木の伐採・剪定
幼稚園	◇通園バス購入

資金支出は合計で128億8864万円となり、そのうち次年度繰越支払資金は51億2026万円となりました。

◆ 消費収支計算

消費収支計算は企業会計における損益計算の仕組みに類似しています。すなわち帰属収入（学校法人の負債とならない収入＝収益）から基本金組入額（教育・研究を継続的に維持向上させるために必要な土地、建物、機器備品、図書等を取得した金額＝資産）を差し引いた消費収入と消費支出（消費した資産の価額及び用役の対価＝費用）を比較して、その均衡の状態、収入が超過しているか、あるいは支出が超過しているかを判定するものです。（損益計算書では計上されない資本的支出が、消費収支計算書では基本金組入額として計上されている点が主な相違点です。）

学校法人は企業と異なり収益の獲得を目的とするものではありませんので、学校法人会計には損益の計算という概念はありません。教育研究内容に見合った適正な収入を得て、教育研究活動の機会と場を永続的に提供することを目的としています。消費収支計算書の消費収入と消費支出が長期的にはつり合い、必要な資産が維持されることが健全な学校経営として望まれるところです。

（単位：千円）

●消費収入の部			
科 目	予 算 額	決 算	差 異
学生生徒等納付金	3,745,644	3,761,592	△ 15,948
手数料	69,675	69,806	△ 131
寄付金	2,799,330	2,762,585	36,745
補助金	1,193,846	1,226,230	△ 32,384

資産運用収入	45,683	54,093	△ 8,410
資産売却差額	0	185	△ 185
雑収入	399,952	571,743	△ 171,791
帰属収入合計	8,254,130	8,446,234	△ 192,104
基本金組入額合計	△ 51,900	△ 201,936	150,036
消費収入の部合計	8,202,230	8,244,298	△ 42,068

●消費支出の部			
科 目	予 算 額	決 算	差 異
人件費	6,098,869	6,007,040	91,829
教育研究経費	2,077,804	2,047,850	29,954
管理経費	390,019	400,150	△ 10,131
資産処分差額	184,200	59,330	124,870
消費支出の部合計	8,750,892	8,514,370	236,522

当年度消費支出超過額	548,662	270,072	
前年度繰越消費支出超過額	10,770,748	10,770,748	
翌年度繰越消費支出超過額	11,319,410	11,040,820	

【用語（科目）の説明】

- ① 学生生徒等納付金……授業料、入学金、実験実習料、維持費、教育設備充実費等
- ② 手数料……入学検定料、試験料、証明手数料等
- ③ 寄付金……宗教学法人天理教よりの回付金、使途指定寄付金、一般寄付金等
- ④ 補助金……私立大学等経常費補助金、奈良県私立学校経常費補助金等
- ⑤ 資産運用収入……預金、有価証券等の利息、配当金等
施設設備の賃貸料収入
- ⑥ 資産売却差額……資産売却収入がその帳簿残高を超えた場合の超過額
- ⑦ 雑収入……私立大学退職金財団等交付金収入、その他の雑収入
- ⑧ 帰属収入……すべての収入のうち、借入金等の負債の増加とならない、本来的に学校法人に帰属する収入
(資金の収入を伴わない現物寄付を含む)
- ⑨ 基本金組入額……取得した建物、機器備品等の固定資産のうち、帰属収入をもって充当した額
- ⑩ 人件費……教員・職員に支給する本俸、期末手当及びその他の手当並びに所定福利費
役員報酬、退職給与引当金組入額
- ⑪ 教育研究経費……教育研究のために要する経費及び教育研究用減価償却資産の減価償却額
- ⑫ 管理経費……教育研究経費以外の経費及び教育研究用以外の減価償却資産の減価償却額

- ⑬ 借入金等利息……………借入金に係る利息
- ⑭ 資産処分差額……………固定資産を廃棄した場合の除去損

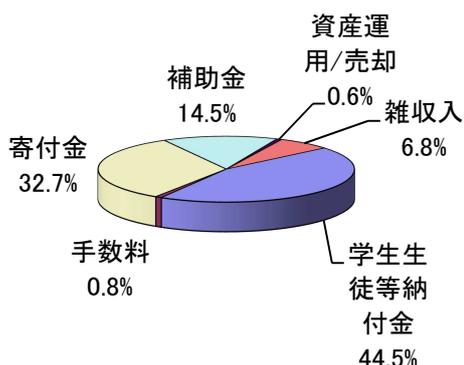
《前述の資金収支と共通の科目があるので、消費収支特有のものについて説明します。》

消費収入の部では、帰属収入合計が予算比 2.33%増の 84 億 4623 万円（前年度 2.26%〈1 億 8626 万円〉の増）となりました。基本金組入額合計が、予算比 189.09%増の 2 億 194 万円となり、消費収入合計は予算比 1.09%増の 82 億 4430 万円（前年度比では 1.09%〈8904 万円〉の増）となりました。消費収入特有の現物寄付としては大学後援会等より図書の受贈、文部科学省科学研究費補助金による備品購入があり、寄付金は 27 億 6259 万円（前年度比では 2.37%〈6713 万円〉の減）となりました。また雑収入に大学及び研究所の図書棚卸調査による増加 1 億 7023 万円を計上しています。消費支出の部では、人件費に退職給与引当金繰入額 8 億 6335 万円を含み、資金収支計算での人件費支出との差額は 8803 万円となっています。教育研究経費に 6 億 682 万円、管理経費に 2352 万円の減価償却費を含んでいます。消費支出の部合計は 85 億 1437 万円（前年度比では 1.17%〈9865 万円〉の増）となりました。

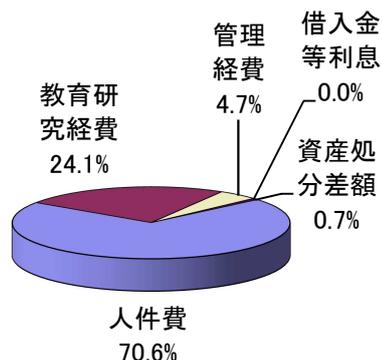
当年度消費収支差額は 2 億 7007 万円の消費支出超過額（前年度は 2 億 6046 万円の消費支出超過額）となり、前年度繰越消費支出超過額を加えた翌年度繰越消費支出超過額は 110 億 4082 万円となりました。

《消費収支計算のグラフ》

帰属収入の構成比



消費支出の構成比



◆ 貸借対照表

貸借対照表は、当法人の財政状態を明示するために、年度末に保有するすべての、資産、負債、基本金および消費収支差額を前会計年度末の額と比較して一覧表示したものです。資産の部は、貸借対照表の借方に表示され、学校法人天理大学に投入された資金がどのように使われているかを表示します。貸方に表示される負債、基本金、消費収支差額はその資産が他人の資金（負債）によって賄われているか、自己資金（基本金、消費収支差額）で賄われているか、すなわち資金の源泉を表示しています。

企業会計という資本という概念がないので、基本金の部（基本金として組み入れている金額）と消費収支差額の部（消費収支計算で消費収入から消費支出を差し引いたものの会計年度末までの累計額）が貸方に計上されることが企業会計のものとは異なる点です。

また、記載金額は期末時点の財産価値ではなく取得した当初の価額を基準とし（取得原価基準）、建物、機器備品等の時の経過によりその価値を減少させる固定資産の貸借対照表計上額は、減価償却をおこなった後の金額となります。

（単位：千円）

●資産の部			
科 目	本 年 度 末	前 年 度 末	増 減
固定資産	26,254,794	26,628,652	△ 373,858
有形固定資産	24,474,156	24,849,042	△ 374,886
その他の固定資産	1,780,638	1,779,610	1,028
流動資産	5,663,159	5,102,428	560,731
資産の部合計	31,917,953	31,731,080	△ 186,873

●負債の部			
科 目	本 年 度 末	前 年 度 末	増 減
固定負債	997,026	1,085,060	△ 88,034
流動負債	1,892,649	1,549,606	343,043
負債の部合計	2,889,675	2,634,666	255,009

●基本金の部			
科 目	本 年 度 末	前 年 度 末	増 減
第1号基本金	39,277,451	39,076,543	200,908
第3号基本金	141,647	140,619	1,028
第4号基本金	650,000	650,000	0
基本金の部合計	40,069,098	39,867,162	201,936

●消費収支差額の部			
科 目	本 年 度 末	前 年 度 末	増 減
翌年度繰越消費支出超過額	11,040,820	10,770,748	270,072
消費収支差額の部合計	△ 11,040,820	△ 10,770,748	△ 270,072
負債の部、基本金の部及び			
消費収支差額の部合計	31,917,953	31,731,080	186,873

【用語（科目）の説明】

- ⑮ 固定資産……………有形固定資産：土地、建物、構築物、機器備品、図書、車輛
その他の固定資産：有価証券、引当資産等
- ⑯ 流動資産……………現金預金、未収入金、仮払金、貯蔵品
- ⑰ 固定負債……………長期借入金、退職給与引当金
- ⑱ 流動負債……………短期借入金、未払金、前受金、預り金
- ⑲ 基本金……………第1号基本金：土地、建物、構築物、機器備品、図書、車輛等の教育研究に必要な資産を
自己資金で取得した総額
第3号基本金：天理大学ふるさと会海外研修基金、果実を学生の海外研修費用の一部に充当
第4号基本金：学校法人が円滑な運営を行うために必要な運転資金の額
- ⑳ 消費収支差額 ……………当年度以前の各年度の消費収入から消費支出を差し引いた差額の累計額

資産の部では、有形固定資産が施設設備の更新、受贈等による増加と資産の除却による減少及び減価償却額を差し引いて、前年度末から3億7386万円減額しています。その他の固定資産は第3号基本金引当資産の積み増しにより、103万円増額しています。流動資産は現金預金、未収入金等の増額により5億6073万円の増となり、資産の部合計では差引1億8687万円増の319億1795万円となりました。負債の部では退職給与引当金、前受金が減少し、未払金、預り金が増加したので差引2億5501万円増の28億8968万円となっています。基本金の部では2億194万円の基本金組み入れを行いましたので総額400億6910万円となりました。

消費収支差額の部合計は、消費収支計算の翌年度消費支出超過額と同額の110億4082万円の消費支出超過となっています。資産の部合計から負債の部合計を差し引いた正味財産は290億2828万円となりました。

(2) 経年比較

財務状況について、収支計算書及び貸借対照表の大科目又は主な科目の過去5年間の推移を記載します。

(単位：千円)

資金収支計算書					
●収入の部					
科 目	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
学生生徒等納付金収入	3,289,724	3,394,678	3,591,305	3,761,406	3,761,592
手数料収入	78,616	77,457	76,454	69,896	69,806
寄付金収入	3,258,298	3,100,250	2,909,550	2,813,579	2,749,941
補助金収入	1,222,293	1,290,385	1,210,555	1,186,075	1,226,230
資産運用収入	55,280	53,203	56,411	57,482	54,093
資産売却収入	104,640	100,000	140,000	0	185
雑収入	248,903	440,927	301,932	355,401	401,512
前受金収入	505,340	526,665	498,605	472,825	457,796
その他の収入	299,592	492,630	374,870	258,287	396,543
資金収入調整勘定	△ 739,670	△ 880,210	△ 780,319	△ 819,890	△ 1,003,160
前年度繰越支払資金	3,937,418	4,169,107	4,698,349	4,558,985	4,774,108
収入の部合計	12,260,434	12,765,092	13,077,712	12,714,046	12,888,646

●支出の部					
科 目	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
人件費支出	6,034,553	6,441,977	5,813,866	5,860,258	6,095,073
教育研究経費支出	1,171,301	1,167,167	1,189,445	1,452,858	1,356,565
管理経費支出	386,706	365,987	325,683	345,677	367,600
借入金等利息支出	5,870	4,288	2,705	1,123	0
借入金等返済支出	100,000	100,000	100,000	100,000	0
施設関係支出	65,030	87,233	320,736	54,416	23,737
設備関係支出	236,194	192,498	194,447	230,693	200,706
資産運用支出	96	109,078	100,467	1,402	1,028
その他の支出	922,438	900,861	1,316,192	844,814	957,790
資金支出調整勘定	△ 900,861	△ 1,302,346	△ 844,814	△ 951,304	△ 1,234,118
次年度繰越支払資金	4,169,107	4,698,349	4,558,985	4,774,109	5,120,265
支出の部合計	12,260,434	12,765,092	13,077,712	12,714,046	12,888,646

(単位：千円)

消費収支計算書					
●消費収入の部					
科 目	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
学生生徒等納付金	3,289,724	3,394,678	3,591,305	3,761,406	3,761,592
手数料	78,616	77,457	76,454	69,896	69,806
寄付金	3,271,458	3,250,441	2,919,595	2,829,715	2,762,585
補助金	1,222,293	1,290,385	1,210,555	1,186,075	1,226,230
資産運用収入	55,280	53,203	56,411	57,482	54,093
資産売却差額	393	0	5,000	0	185
雑収入	248,903	649,935	301,932	355,401	571,743
帰属収入合計	8,166,667	8,716,099	8,161,252	8,259,975	8,446,234
基本金組入額合計	△ 308,159	△ 204,849	△ 451,833	△ 104,722	△ 201,936
消費収入の部合計	7,858,508	8,511,250	7,709,419	8,155,253	8,244,298

●消費支出の部					
科 目	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
人件費	5,851,321	6,220,850	5,913,750	5,854,909	6,007,040
教育研究経費	1,909,723	1,858,820	1,885,261	2,155,173	2,047,850
管理経費	425,029	622,004	361,218	380,013	400,150
借入金等利息	5,870	4,288	2,705	1,123	0
資産処分差額	36,114	64,397	45,855	24,504	59,330
消費支出の部合計	8,228,057	8,770,359	8,208,789	8,415,722	8,514,370
当年度消費支出超過額	369,549	259,109	499,370	260,469	270,072
前年度繰越消費支出超過額	9,382,250	9,751,799	10,010,909	10,510,279	10,770,748
基本金取崩額	0	0	0	0	0
翌年度繰越消費支出超過額	9,751,799	10,010,908	10,510,279	10,770,748	11,040,820

(単位：千円)

貸借対照表					
●資産の部					
科 目	22年度末	23年度末	24年度末	25年度末	26年度末
固定資産	28,037,263	27,373,143	27,088,166	26,628,652	26,254,794
流動資産	4,366,395	5,078,625	4,820,726	5,102,428	5,663,159
資産の部合計	32,403,658	32,451,768	31,908,892	31,731,080	31,917,953

●負債の部					
固定負債	1,411,651	1,090,525	1,090,408	1,085,060	997,026
流動負債	1,638,048	2,061,544	1,566,322	1,549,606	1,892,649
負債の部合計	3,049,699	3,152,069	2,656,730	2,634,666	2,889,675
●基本金の部					
第1号基本金	38,317,081	38,521,855	38,973,223	39,076,543	39,277,451
第3号基本金	138,677	138,753	139,218	140,619	141,647
第4号基本金	650,000	650,000	650,000	650,000	650,000
基本金の部合計	39,105,758	39,310,608	39,762,441	39,867,162	40,069,098
●消費収支差額の部					
翌年度繰越消費支出超過額	9,751,799	10,010,909	10,510,279	10,770,748	11,040,820
消費収支差額の部合計	△ 9,751,799	△10,010,909	△ 10,510,279	△ 10,770,748	△ 11,040,820
負債の部、基本金の部及び 消費収支差額の部合計	32,403,658	32,451,768	31,908,892	31,731,080	31,917,953

(3) 主な財務比率の推移

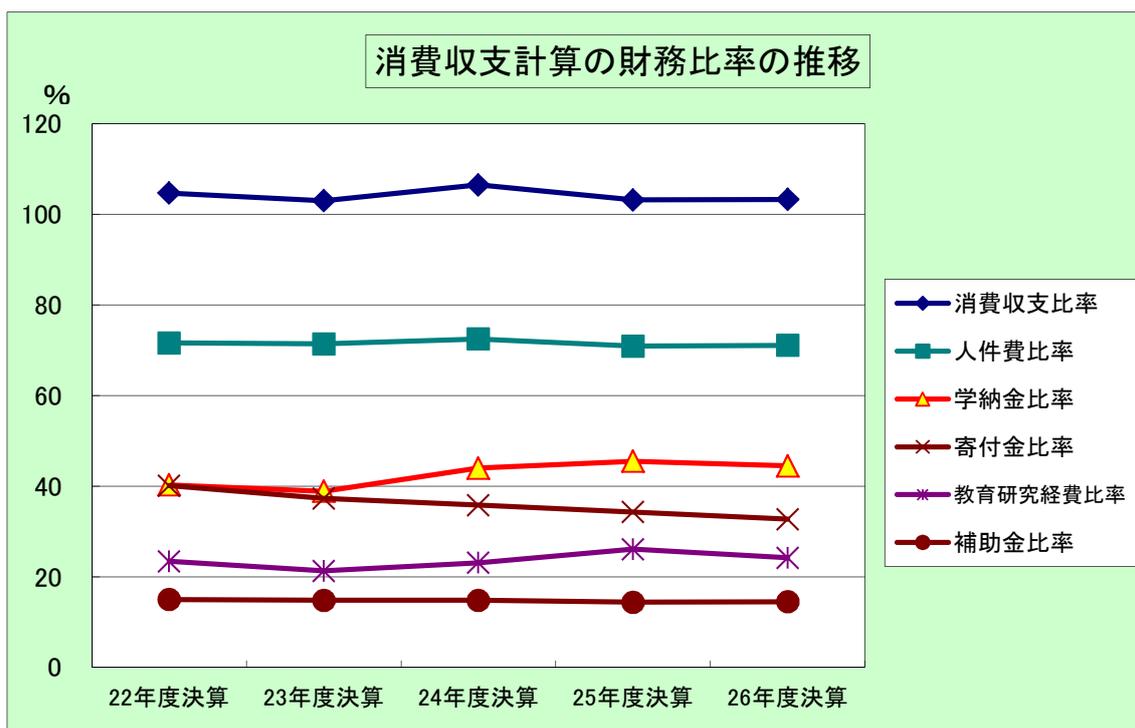
主な消費収支計算書関係比率と貸借対照表関係比率の過去5年間の推移を掲載し、一部の比率についてグラフにより概要を説明します。

(単位：%)

比 率	算 式 (×100)	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
人件費比率	$\frac{\text{人件費}}{\text{帰属収入}}$	71.6	71.4	72.5	70.9	71.1
人件費依存率	$\frac{\text{人件費}}{\text{学生生徒等納付金}}$	177.9	183.3	164.7	155.7	159.7
教育研究費比率	$\frac{\text{教育研究経費}}{\text{帰属収入}}$	23.4	21.3	23.1	26.1	24.2
管理経費比率	$\frac{\text{管理経費}}{\text{帰属収入}}$	5.2	7.1	4.4	4.6	4.7
借入金等利息比率	$\frac{\text{借入金等利息}}{\text{帰属収入}}$	0.1	0	0	0	0
帰属収支差額比率	$\frac{\text{帰属収入}-\text{消費支出}}{\text{帰属収入}}$	△0.8	△0.6	△0.6	△1.9	△0.8
消費収支比率	$\frac{\text{消費支出}}{\text{消費収入}}$	104.7	103.0	106.5	103.2	103.3

学生生徒等納付金比率	$\frac{\text{学生生徒等納付金}}{\text{帰属収入}}$	40.3	38.9	44.0	45.5	44.5
寄付金比率	$\frac{\text{寄付金}}{\text{帰属収入}}$	40.1	37.3	35.8	34.3	32.7
補助金比率	$\frac{\text{補助金}}{\text{帰属収入}}$	15.0	14.8	14.8	14.4	14.5
自己資金構成比率	$\frac{\text{自己資金}}{\text{総資金}}$	90.6	90.3	91.7	91.7	90.9
流動比率	$\frac{\text{流動資産}}{\text{流動負債}}$	266.6	246.4	307.8	329.3	299.2
負債比率	$\frac{\text{総負債}}{\text{自己資金}}$	10.4	10.8	9.1	9.1	10.0
基本金比率	$\frac{\text{基本金}}{\text{基本金要組入額}}$	99.2	99.4	99.7	100.0	99.9

「総資金」は負債＋基本金＋消費収支差額を、「自己資金」は基本金＋消費収支差額をあらわす。



消費収支比率は100%を恒常的に上回り、26年度では3.3ポイント上回りました。人件費比率は22年度から横ばい状態ですが、26年度は0.2ポイント上がりました。学生生徒等納付金比率（学納金比率）は学生生徒等納付金が前年度から横ばいで、補助金が増加したため、26年度は1.0ポイント下がり、寄付金比率は1.6ポイント下がりました。教育研究経費比率は1.9ポイント下がり、管理経費比率は0.1ポイント上がり増加傾向となっています。補助金収入は昨年度より増額となり、補助金比率は0.1ポイント上がりました。